

こんにちは 山田耕平 です

2021.9.16 No.423

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

杉並区議会第3回定例会一般質問で追及 区長 緊急事態宣言下に飲酒伴う会食・宿泊

他県への移動自粛に反する行為

杉並区の田中区長が、7月12日の緊急事態宣言が発令された直後に、公用車で群馬県のゴルフ場に移動し、飲食を伴う区内経済団体の会合に出席していたことが、日本共産党杉並区議団の調査で明らかになりました。

9月14日、杉並区議会本会議で一般質問に立ち、開示請求資料で明らかになった実態を示し、区長を追及しました。

開示資料には、緊急事態宣言が発令されていた今年の7月14日の午後、公用車で群馬県長野原町のゴルフ場への移動が記載されていました。

酒類提供・宿泊を認める

区は質問に対し、酒類の提供と宿泊したことを認めました。私は、区長の行為は「緊急を要するものではない」と指摘。「都の自粛要請に背く行為ではないのか」と区長の姿勢を質しました。

14当日は、杉並区では、ワクチン接種の新規予約が開始され、早々に予約枠が埋まり、大きな混乱が発生していました。



緊急事態宣言のもと、区民がコロナ禍で苦しんでいる時にあるまじき態度です。

7月の区長の日程表より（抜粋）

日	時間	内容	備考
7/14(水)	11:00~11:15	登庁	<区長車使用>
	11:30~11:50	報告(新型コロナウイルス予防接種担当課長)	宇賀神副区長室
	15:30~20:00	出張(東京商工会議所杉並支部幹部会議)	軽井沢高原ゴルフ倶楽部<区長車使用 区役所発 12:00~随 行終了 17:10>

区長は答弁に立たず 反省の色も見えず

さらに「区内経済団体には、区から発注を受けている企業の代表者がいるのではないかと追及。」「こうした事業者との旅行やゴルフは、国家公務員倫理規定で禁止されているのではないのか」と区長の認識を質しました。

田中区長は一切答弁に立たず、総務部長が答弁。宿泊費、飲食費は公費負担だと認め、酒を伴う飲食があったことについて「短時間で終了した」と言い訳に終始しました。

質問はマスコミも注目。テレビ各局は14・15日のニュース番組で報道、新聞も、朝日、読売、毎日、東京、産経等が取り上げました。



一般質問の様子、14・15日にかけて多くのメディアに取り上げられ、区長の姿勢を批判した。

区民の命と健康を守るために

新型コロナ対策 総力上げた取り組みを！

自宅療養者への支援強化開始

党区議団は、第3回定例会本会議一般質問において、新型コロナ対策に総力をあげて取り組むよう求めました。
東京では、7月から8月にかけて、新規感染者は爆発的拡大となりました。

陽性と診断されても、病院にも療養施設にも入れず、自宅療養を余儀なくされている事態がうまれているもとで、杉並区が、区民の命を守るために、総力をあげて取り組むことが必要です。

■区内の感染者の状況（9月1日時点）

入院者数	434人
療養施設入所者数	133人
自宅療養者数	613人
内、入院待機者数は	0人
療養施設待機者数は	18人

区は、9月から3か所の保健センター内に「自宅療養者支援ステーション」を設置し、対象の方にパルスオキシメーターや食品等の物品を配布するとともに、1日2回の架電やICTを活用した健康観察、相談支援を行っていることと答弁。また、医師会と訪問看護ステーションの協力を得て、必要な方には酸素濃縮装置を活用した訪問診療や訪問看護を行なうと答えました。

保健所職員の超過勤務は深刻 抜本的な体制の拡充と支援策を

自宅療養者や新規感染者への対応で、保健所職員の超過勤務は昨年と比べ、さらに深刻となっています。一カ月の超過勤務時間が173時間に及んだ職員もおり、全庁的支援体制を求めました。
区は、保健師業務については、保健所各課及び各保健センター、本庁配置の保健師で全庁的な応援体制を取ったことと答弁。発熱相談センター業務、自宅療養者支援ステーションの業務についても、事務職などで対応可能な業務は、全庁的な応援体制により行っていると答弁しました。

■保健所職員の昨年4月から7月までの最多の超過勤務時間数
※いずれも事務職の実績

	4月	5月	6月	7月
2020年	112時間	99時間	109時間	97時間
2021年	149時間	173時間	170時間	151時間

気候危機を打開する
日本共産党の2030戦略
山田地域学習会

■9月18日（土）13時～
■西荻地域区民センター
第2集会室

日本共産党の2030年問題
への基本戦略を学習します。

感染伝播の鎖を断つため PCR検査の拡充を！

感染拡大を防ぐために、感染が顕著になっている事業所や保育所、学童クラブ等での大規模検査の実施が必要です。

杉並区は「クラスターが発生している施設に対しては、濃厚接触者に限らず、幅広く接触者を検査対象としている。そのため、現時点では、一律的な大規模検査は考えていない」との姿勢を示しています。

一方、感染伝播の鎖を断つためには、検査を「いつでも、だれでも、何度でも」の立場で、大規模に実施することが鍵です。杉並区のコロナ対策の基本姿勢は、「医療提供体制の維持・拡充」「適切な療養環境の提供」「隔離政策を含む感染拡大防止」「ワクチン政策」で、PCR検査の拡充が入っておらず、問題です。

新型コロナ対策の拡充については、保健福祉委員会・決算特別委員会等で取り上げます。

今週の1コマ

子ども達にも説明困難…

田中区長の問題は、コロナ禍で我慢の生活を続ける子ども達にも説明し難いものです。緊急事態宣言下に公用車を使い他県に移動。飲食費・宿泊費・旅費を全て税金で支払い、酒を飲み懇親会に興じる…。このような人物がいることを子ども達にどのように説明すべきか…。

区民に疑問を持たれない真つ当な首長であってほしいものです。